

ハッピー(8%)ごみ減量プラン

(第4次豊中市ごみ減量計画)

令和5年度 (2023年度) 事業等報告書 速報版

ハッピー(8%)ごみ減量プラン事業等報告書速報版は、当プランの年度ごとの進捗状況を速報版としてまとめたもので、ごみの状況をみなさんにわかりやすく紹介するとともに、ごみ減量施策の進捗状況に対し、ご意見をいただき、今後の事業展開に活かすことを目的としています。

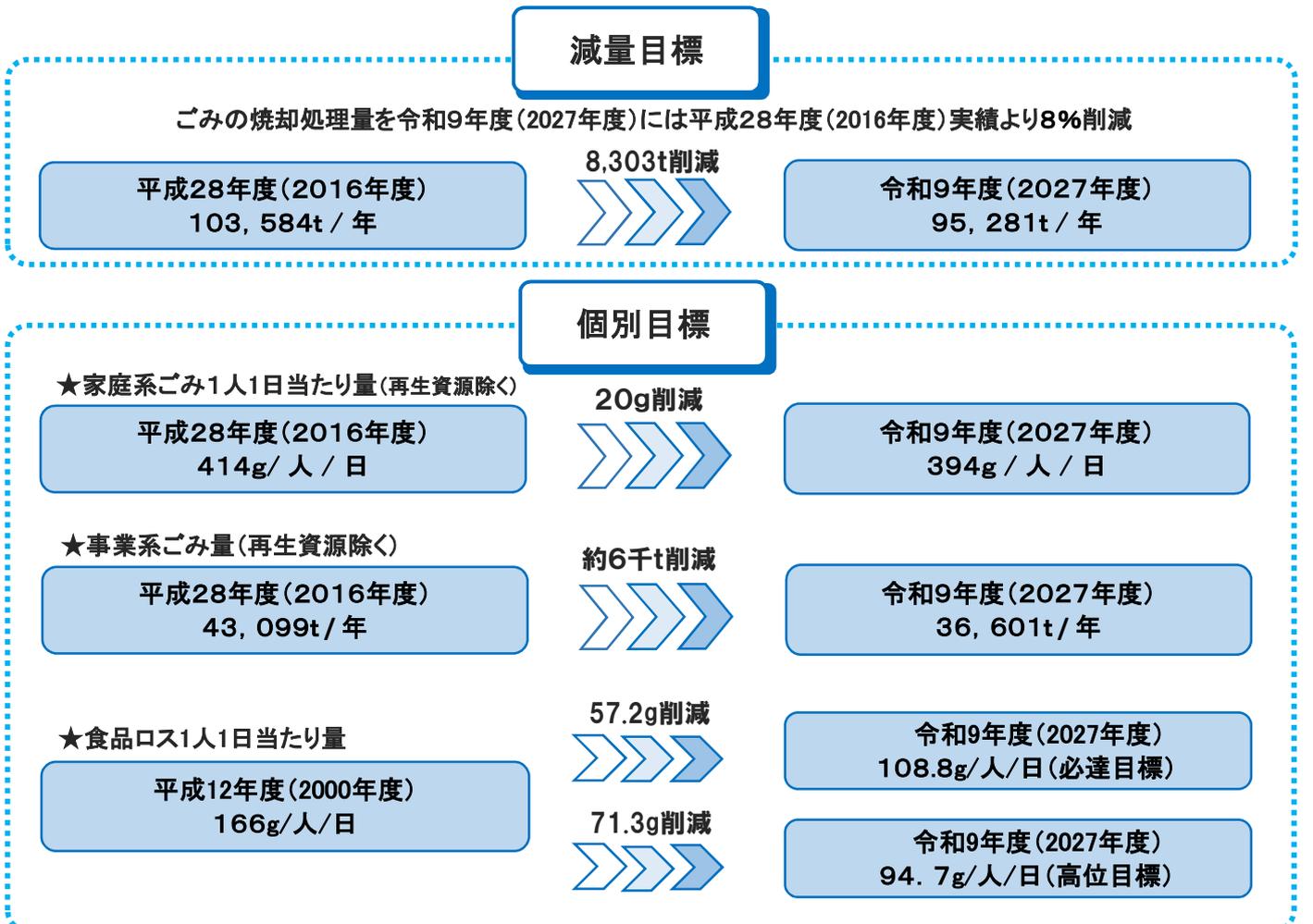
【ハッピー(8%)ごみ減量プランの改定】

市は、令和5年(2023年)3月、廃棄物を取り巻く社会情勢や新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の変化に対応するため、「第4次一般廃棄物処理基本計画」を改定。これに合わせ、アクションプランである「ハッピー(8%)ごみ減量プラン」についても改定を行いました。

【ハッピー(8%)ごみ減量プランの概要】

基本理念は	▶▶▶▶	○協働で取り組む循環型社会の構築
基本施策は	▶▶▶▶	○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進

【ハッピー(8%)ごみ減量プランの減量目標】



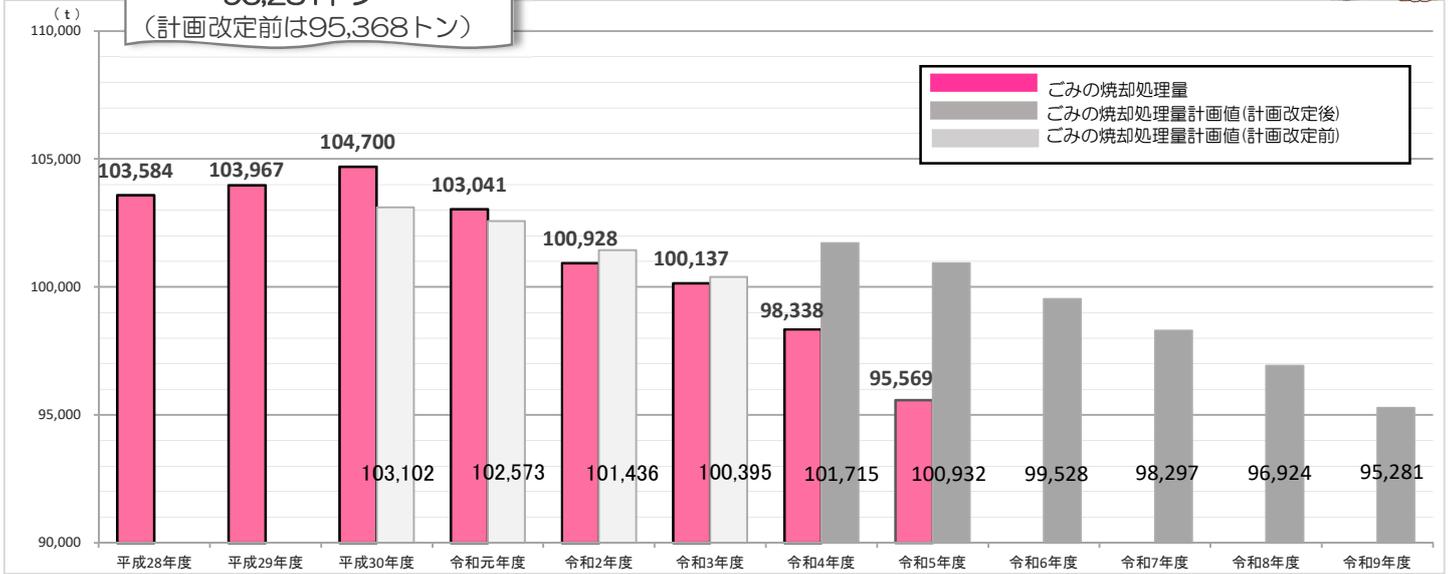
令和5年度(2023年度)のごみ減量の進捗状況



ごみの焼却処理量

最終目標値
95,281トン
(計画改定前は95,368トン)

ごみの焼却処理量
令和4年度 98,338トン
2,769トン減
令和5年度 95,569トン



・ごみの焼却処理量・・・豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

要因分析

「ごみの焼却処理量」は、令和4年度比で、2,769トン減少しています。
その要因として、令和5年度はアフターコロナに転換し、事業活動や人びとの外出の機会が通常に戻るなか、環境意識の浸透、物価高騰による個人消費の抑制ともあいまって家庭系ごみは引き続き減少、事業系ごみも事業者や行政の取組みにより微減となり、総量として大幅な減少となったと推察されます。

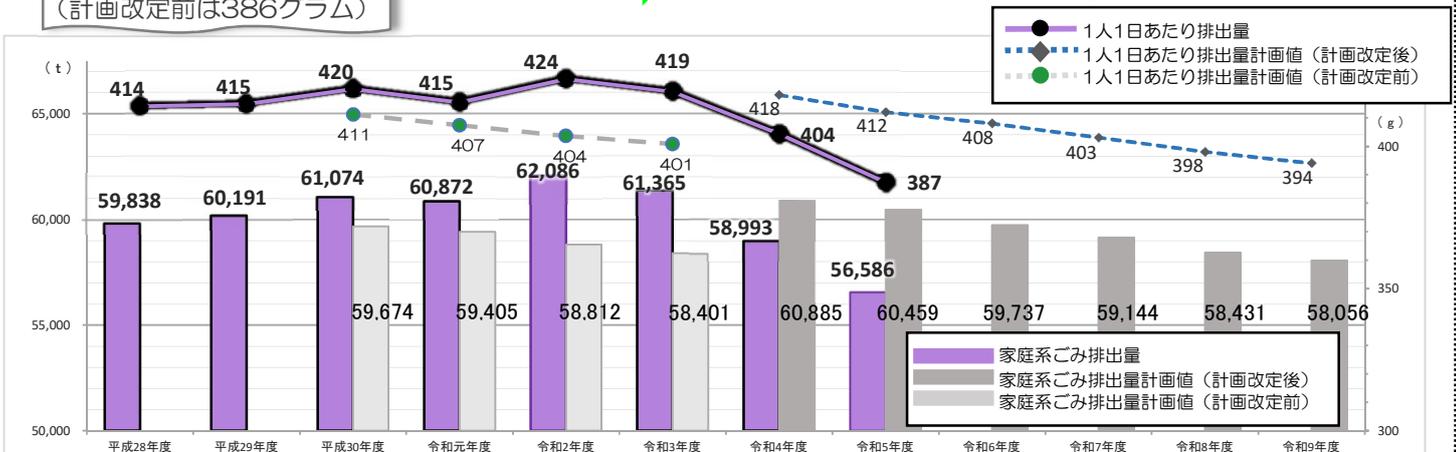
家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量(参考)



最終目標値
394グラム
(計画改定前は386グラム)

家庭系ごみ1人1日当たり量
令和4年度 404グラム
17グラム減
令和5年度 387グラム

家庭系ごみ量
令和4年度 58,993トン
2,407トン減
令和5年度 56,586トン

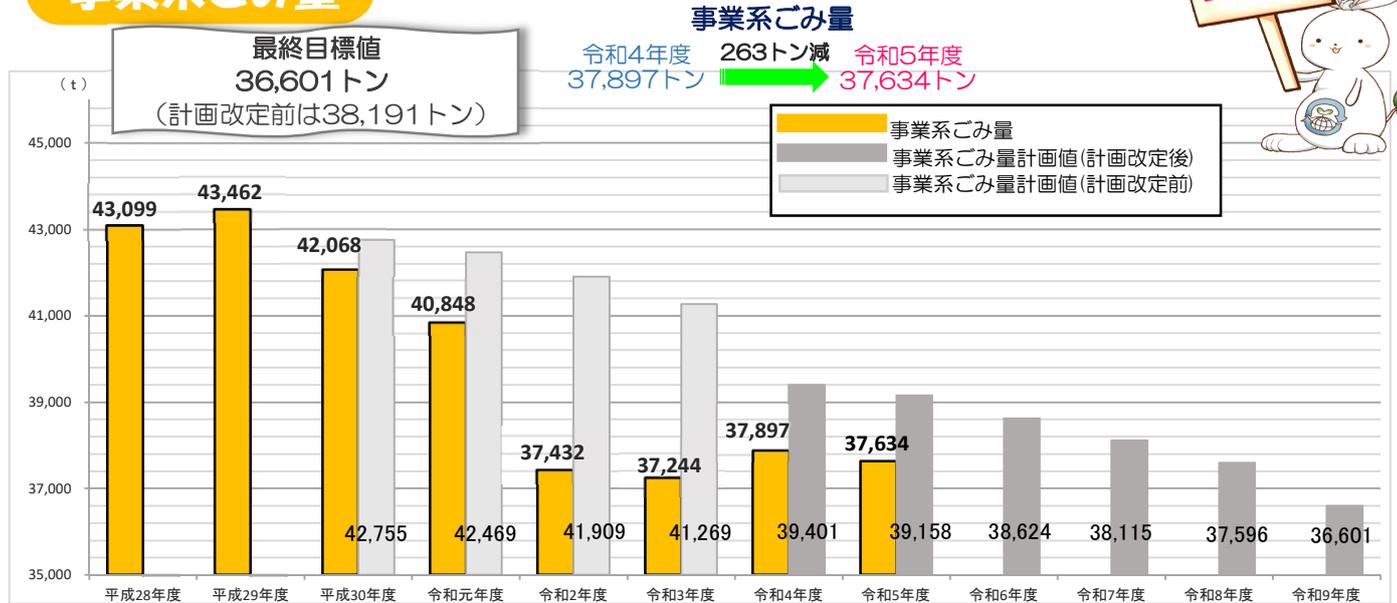


・家庭系ごみ1人1日当たり量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の市民1人1日当たり量

要因分析

「家庭系ごみ量」は令和4年度比で、2,407トン減少し、1人1日あたり量については、令和4年度比で17グラム減少しています。
その要因として、在宅時間の減少や、ごみの減量に向けた普及啓発の推進による環境意識の浸透、また物価高騰による個人消費抑制の影響もあり、大きく減少したものと推察されます。

事業系ごみ量

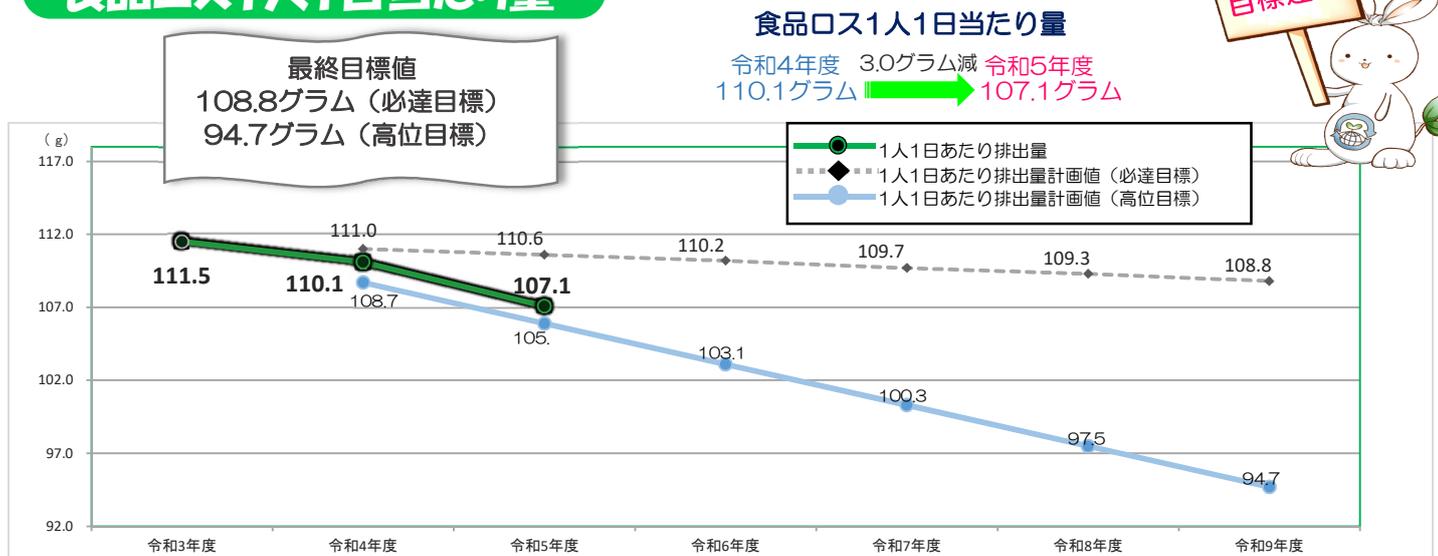


・事業系ごみ排出量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量(再生資源を除く)の年度合計量

要因分析

「事業系ごみ量」は令和4年度比で、263トン減少しています。
その要因として、コロナによる経済への影響が収束に向かい、事業活動が通常に戻るなか、事業者によるごみの発生抑制やリサイクルへの取組みの浸透、行政によるごみの搬入物検査等により、昨年度と比べ減少したと推察されます。

食品ロス1人1日当たり量



・食品ロス1人1日当たり量・・・家庭系及び事業系ごみ量の実績値に、排出実態調査における食品ロスの組成割合を乗じて算出した推計量

要因分析

「食品ロス1人1日当たり量」は、令和4年度比で推計値として3グラム減少しています。
その要因として、行政や事業者の取組み推進、家庭における無駄のない買い物や食材の活用が進んだことなどにより、減少したと推察されます。

リサイクル率(参考指標)

進捗状況

- 計画改定後、参考指標に位置付けました。
- 令和4年度は16.0%でした。
- 令和5年度は15.7%で、0.3ポイント減少しました。

今後の方向性

外出機会の増加で、宅配やテイクアウトなどの需要が減り、再生可能な容器包装などの使用が少なくなったこともあり、減少したと推察されます。社会全体で徹底した資源循環の促進が求められるなか、今後も適正な分別・排出に向けた取組みを推進していきます。

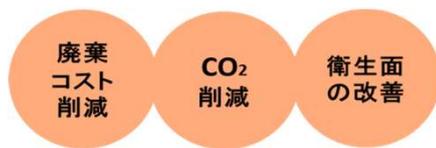
ごみ・リサイクルに関するトピックス

事業系生ごみ処理機設置補助金制度をスタート！

令和6年度 対象となるごみ処理機を拡大

令和5年（2023年）5月、市内の事業所から排出される生ごみの減量化及び資源化の促進を図るため、事業系生ごみ処理機設置補助金制度の運用を開始しました。

令和6年（2024年）5月には生ごみやおむつ等のごみ処理機（減容率80%以上）に補助対象を拡充し、さらなる事業系一般廃棄物の減量に取り組んでいます。



フードドライブ

ヤマト運輸(株)との連携により、新たな運搬体制を構築

令和5年（2023年）8月にヤマト運輸株式会社と締結した包括連携協定に基づき、同年9月から、市内のスーパーで実施しているフードドライブにおいて同社との連携をスタートしました。

宅配業務のノウハウを活かし、食料品の運送を同社が担うことで、回収期間が短縮され、より迅速かつ効率的にこども食堂や必要としている人に食料品を届けることが可能となりました。



事業系ごみの搬入物検査を強化しています

ごみの適正処理を推進するため、豊中市伊丹市クリーンランドと協働し、搬入される事業系一般廃棄物に、産業廃棄物などの不適物が混ざっていないかを調べる「搬入物検査」を実施しています。令和5年度（2023年度）からは、検査用のベルトコンベアを導入し、より精度の高い検査が行える体制を整えました。産業廃棄物などの不適物が搬入された場合は、持ち帰り措置や指導等を行い、正しい分別の啓発を行っています。



環境美化功労者に感謝状を贈呈

市内では、地域ボランティアの清掃活動が活発に行われています。市は、地域清掃活動に登録した団体等に、必要な用具の貸出しやごみ袋の配布、清掃後のごみ回収などの支援を行っています。

地域清掃活動団体（個人）に登録し、3年以上継続的にまちの美化に貢献した個人や団体を表彰しており、令和5年度（2023年度）の環境美化功労者として高田真矢子さん（個人）、合同会社GENE（団体）に感謝状を贈呈しました。



高田真矢子さん



合同会社GENE

『充電式電池内蔵の小型家電・電池類』の定期収集を開始

豊中市では、ごみ処理施設や収集車両での発火事故を未然に防止するため、『充電式電池内蔵の小型家電・電池類』の分別区分を新たに設け、これまでの拠点回収に加え、令和5年（2023年）10月から2週間に1回の定期収集を開始しました。今後とも分別のご協力をお願いします。

